

会 議 録

会 議 の 名 称		第2回川島町災害情報伝達検討委員会
開 催 日 時		令和元年8月20日（火）午後2時
開 催 場 所		川島町役場 大会議室
議 題		<p>(1) 職務代理者の指名、会議の公開、会議録の記録方法及び会議録署名委員の指名について</p> <p>(2) 災害情報伝達について</p> <p>(3) アンケート実施について</p> <p>(4) 先進事例の紹介</p> <p>(5) その他</p>
公開・非公開の別		公 開 ・ 非公開 ・ 一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	飯塚 智規、木村 みちえ、関根 和則、(代理 松井 慎一)、水村 一重、小川 敏晴、高野 裕幸、利根川 洋治、永田 久男、神山 文夫、尾林 浩、馬場 三郎、宇津木 康明、鈴木 克久、内野 修一、小久保 聡、石川 勉
	事務局職員	総務課：高城主幹、菊地主査
配 布 資 料		<p>次第</p> <p>資料1 川島町防災会議委員名簿</p> <p>資料2 災害情報伝達について</p> <p>資料3 アンケート（案）</p> <p>資料4 先進事例の紹介</p>
審議会等の内容・概要		
<p>1 開会 進行高城主幹</p> <p>2 あいさつ 飯塚委員長</p> <p>3 議事 議事進行：川島町災害情報伝達検討委員会 飯塚委員長</p> <p>(1) 職務代理者の指名、会議の公開、会議録の記録方法及び会議録署名委員の指名について</p> <p>「川島町防災会議条例」に基づいて、職務代理者の審議を行う。また、「川島町審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づいて、今回の会議を公開することと、傍聴について説明し、審議を行う。さらに、会議録の公開方法や署名委員についても審議を行う。また、署名委員として、高野委員、永田委員とする。</p> <p>(2) アンケート実施について</p> <p>前回の会議にていただいた意見等を反映しました。世帯ごとに記入を想定しておりましたが、個人ごとに記入頂けるように変更してあります。</p>		

【質疑】

委員 基本的な修正事項等を説明いただけますか。

事務局 防災行政無線の説明・家族構成の兄弟姉妹配偶者の欄追加、生活環境の質問追加、家族の防災について追加等を修正しました。

委員 世帯ごとから個人ごとに変更したとの話があったが、性別の欄がないが、最終的には性別や年代ごとに集計したりするのか？

事務局 性別については、男性だから女性だからというのではなく、家に居る人がどのように感じているかですので、入れておりません。年代については、集計後比較したいと考えております。

基本的には、世帯主に書いていただく事を想定しておりますが、配偶者の方でも書いていただければ結構です。

委員 各年代で何人という形で配ったりする事を想定していないのか？現在の配り方だと、ほとんどが60代以上の回答となる可能性もある。

事務局 その通りです。今回配るのに、若い世代の世帯の回答をもらう為、保育園小学校にも配布する予定です。

委員 世帯としての意見を聞きたいのか。個人の意見を聞きたいのかははっきりした方がいい。例えば、世帯の総意なのか、世帯主の個人の意見でいいのか町としてもはっきりした方が、後々理由を求められた時に、決めとかないといけない。

委員 このアンケートの回答するのは誰になるのか。各地区の班長でいいのか。

委員 各地区にどのくらい配るのか？と保育園・幼稚園・小学校・中学校でどのくらい配るのか。

事務局 各地区に800くらい、+保育園・幼稚園・小中学校で約1000程度を考えています。

委員 できれば、60代以上ではなくて、60代・70代・80代を分けてほしい。

委員 防災行政無線については、不特定多数の発信だが、個人のツールの活用を考えているのであれば、災害時、最終的には、世帯でまとまるが、発生当時は個人となるので個人に聞いた方がよいと思う。

委員 このあとのスケジュール的にまとめて意見を言えるのは今回で最後となる可能性があるなので、お願いしたい。

委員 性別を聞く聞かないの議論がありますが、やっぱり男性・女性とか、子供が居るか居ないで感じ方が違うと思うので入れた方がよいと思います。

委員 班長は60代、保育園や小学校は30代になる。20代等の意見が聞けるのか、また、慎重に見直ししてもよいと思う。

委員 ケーブルテレビを入れた趣旨は？

事務局 前回の会議の中、ケーブルテレビ・インターネットなど、世帯の環境について聞いてみてもいいとの意見がありまして追加しました。また、会議の

中で、ケーブルテレビが川島町で全部入っていない事もありまして追加しております。

委員 ケーブルテレビについてもそうですが、インターネットについては、今ガラケーでも見れる。それをあえて聞く必要があるか

事務局 先ほども言いましたが、会議の意見で追加しました。使用方法としては、インターネットについては、情報伝達方法として使えるのかどうか、ケーブルテレビも同様で使用する予定です。

委員 生活環境について、あえてインターネットとケーブルテレビを聞く必要はないと思います。また、最後の項目で聞いているので、あえて入れる必要はないと感じました。

委員 家族の防災について、内容をかなり変更したが、その説明をお願いいたします。

事務局 会議等でいただいた意見を追加したのですが、内容について前の方がよいとの話しであれば、その様にいたします。

委員 アンケート調査についてお願いする文書を付けて頂ければと思います。

委員 意見が無ければ、いったん内容を預からしていただいて、委員長・副委員長・事務局で進めさせて頂きたいと思います。

### (3) 災害情報伝達について

・前回の会議について、詳しい川島町の現状について説明して欲しいとの話しがあった為、川島の現状について説明。

#### 【質疑】

委員 平成28年度のアンケート結果は現在もホームページで公開しているか。

事務局 その当時は行っていたが、現在は公開しておりません。

委員 その当時のアンケートの内容はどのようなものか

事務局 内容は、家の中でも聞こえる・家の中でも、窓が開いて入れば聞こえる・屋外にいれば聞こえる・雨風が強いときは聞こえない・聞こえないとの回答のみになります。

委員 人口二万人から比べると、かわべえメールの登録者数からすると少ない気がする。

委員 登録の促進をしているのか？

事務局 各種会議や全体区長会議、防災訓練等の訓練で案内をしています。

委員 強制的に登録はしてもらっていないのか？

事務局 口頭ではすぐ登録する様に話しているが、その場で強制的に登録するまでの対応はしていません。

委員 防災行政無線の使用頻度についてはどのくらいか。

事務局 年間72回程度放送している。内訳は、選挙2回、交通安全50回、火災予防が4回、行方不明2回、緊急工事が2回、訓練放送が12回それ以外にも帰宅促しが流れている。

委員 それ以外に定期的な放送があるのか

事務局 特にはないです。

委員 例えば、週末はイベントがありますなども流さないのか？

事務局 催し物については、かわべえメールで流しており、防災行政無線については緊急性があるもののみとなります。

委員 そのような事であれば、防災行政無線で流す情報についても考えた方がよい。

委員 防災ラジオの設置についてどういう所に設置してある。

事務局 各地域配布分として104台あります。これは、各区長さんにお配りしてあって、その後引き継ぐこととなっております。

また、一般申込分 53台として、1万5千円で購入して頂いております。あと、各避難所や総務課予備として持っております。

委員 内容としてはどのようなものか。

事務局 防災ラジオは、防災無線の内容をそのまま放送しております。

委員 窓の近く置かないと聞こえない。

事務局 最近の家は、密閉性等が高く、そとの電波が中まで届かない可能性があります。その為、窓の近くなどに置いてくださいとお話するが、それでも聞こえない場合は、外部アンテナ（家等に取り付けする物）を付けないと電波が届かない可能性があります。

委員 防災ラジオの各地域配布分については把握していないのか

事務局 各地域配布分については、各区長さんに任せており、現在把握はしていません。

委員 防災ラジオはどのような仕組みなのか？

事務局 通常のラジオに加え、防災行政無線の電波を受信できるようになっており、防災行政無線の放送が入れば、勝手に切り替わって放送が流れる形となっております。

委員 現在の防災ラジオはだいたい4万円程度だし、耳が不自由な方や国際化等を考えると、ディスプレイがついた戸別受信機などが必要になる可能性がある。

委員 防災ラジオのみだと1万5千円ぐらい、ディスプレイついたものだと4万程度、屋外は、一基200万円ぐらい、現在はスピーカーが新しくなっており、ラインアレイ型という直列につないでいるタイプになっている。これは、指向性高めたスピーカーで、どんな所でも平均的に聞こえるものになっている。

防災ラジオについても、デジタル化になれば、音質はクリアーになる。

委員 現在町では、屋外スピーカーは何箇所程度あるのか

事務局 町では65箇所になります。

委員 最近の屋外スピーカーについては高性能になってきている。その為、屋外

スピーカーだとしても、多少設置箇所を減らせる可能性はある。

委員 防災行政無線は夜間何時ぐらいまで放送してもらえるのか？

事務局 詳しく決められているわけではありませんが、緊急時にはいつでも放送できるようにしております。ただし、夜間については、20時まで、22時までで町で判断をしながら放送しております。また、夜間については何でも放送してしまうと、苦情となってしまい、特に緊急の時のみ放送しております。

委員 私は、デジタル放送をよく見えています。もっと活用したらどうか。

委員 Lアラートについては、地元の情報を各テレビ局が取り上げるかどうか不明である。その為、テレビ埼玉のデジタル放送を活用してほしい。

・前回の会議について、先進事例の金額について報告します。

事務局 先進事例の金額については、あくまで実証実験ということで、予算枠があるなかで対応しております。その為、対象人数や規模について予算に合わせた実施となっている為、一概には比較できないものとなっております。茨木県常総市約7千万円、三重県御浜町約7千万円、兵庫県加古川市約2千万円、愛媛県宇和島市約7千万円、愛媛県新居浜市約7千万円、熊本県菊池市約7千万円、愛知県約9千万円となっております。

・委員の方から過去の災害教訓と委員会の進め方（提案）について説明

委員 地域特性について共通認識をしていきたい。

委員 町（避難情報の伝達）と住民（避難情報受信）まで検討したい。また、できれば、その先の住民（情報の収集分析・避難行動の判断）まで議論していきたい。

委員 伊豆大島土砂災害：強風により防災行政無線が聞こえなかった。

委員 伊豆大島土砂災害：戸別受信機も配布していたが、注意喚起されていなかった。

委員 広島市土砂災害：屋外スピーカーが設置されていたが電柱が災害で倒れた。また、天候が悪化してから聞こえなかった。

委員 常総市水害：防災行政無線が浸水し機能しなくなった、また、テレホンサービスもあったが、大半の住民は知らなかった。

委員 大きな枠としては、防災行政無線を継続するのか、戸別受信機のほうがよいのかまた、他の案があるのか、次回の会議で進めたいと考えています。

#### (4) その他

次回の会議については、9月30日 14時からを考えております。

6 閉会 関根副委員長

署 名	永田久男 
	高野裕幸 